

～大沢地区社協だより～

ころ

第45号

発行日 平成30年3月
発行 大沢地区社会福祉協議会
住所 相模原市緑区大島1776-5
大沢まちづくりセンター内
TEL 042 (761) 2610
編集 広報啓発事業部会

大沢地区社協ホームページアドレス <http://www.sagamiharashishakyo.or.jp/chikushakyo/osawa> (相模原市社協サイト内)

ボランティアグループ紹介

サークル沢

メンバー募集中です!



美味しいお茶を入れましょう!



こちらの方のオーダーはコーヒーです

私たちの活動は、毎週水曜日の午前中に、特別養護老人ホーム内でコーヒーや紅茶などの飲み物を用意し、利用者さんの話し相手をしています。また月3回火曜日には、障がい者作業所で昼食作りをしています。私たちが行くことを、皆さんが楽しみに待っていてくださり、それがやりがいにつながっています。



今日のメニューはサラダと...



赤い羽根街頭募金



年賀状の宛名書き



福祉教育(視覚障がい者誘導)



受賞おめでとうございます!

サークル沢の皆さんは、発足以来23年にわたり地区社協事業に協力してくださっています。また今年度「まちづくり花壇コンテスト」(主催:相模原市まち・みどり公社)において、“銅賞”を受賞されました。皆さんの活動が多方面で地域福祉に生かされています。

「長年継続ができてるのは、会員相互の協力と笑顔で楽しく活動していることです」と代表の阿部祐子さんがお話しされていました。

お問い合わせ先 … 大沢地区社会福祉協議会 TEL 042 (761) 2610 大沢まちづくりセンター内



大沢地区社協 2017

～平成29年度活動報告～



大沢地区社会福祉協議会は、自治会・民生委員児童委員協議会・公民館・親茶会（老人クラブ）・学校・PTA・高齢者支援センター・交通安全母の会・ボランティアグループなど、地区内の福祉関係の団体や個人で構成されています。【構成員数 84 名・団体数 18 団体】

高齢者等見守り 訪問事業



見守りを必要とされる高齢者宅に民生委員とボランティアの協力により手作り菓子等を持参し、訪問しています。
(年6回実施)

福祉バザー



(10月1日実施)
今年度の収益金は
115,091 円でした。
皆様のご協力、誠にありがとうございました。
来場者：418 名
スタッフ 57 名 (内中高生 14 名)

当日の赤い羽根募金収益
3,036 円



4月 … PR活動(おおさわ桜まつり)

5月 … 総会
高齢者等見守り訪問事業①

6月 … ふくし実技体験
構成員等視察研修会
福祉教育 (大島小)
日赤社員増強運動

7月 … 高齢者等見守り訪問事業②
ボランティアグループ・
サロン交流会
市社協賛助会員の募集

8月 … 第10回大沢comcom.com

9月 … 福祉映画会
高齢者等見守り訪問事業③
敬老事業 (祝い品の配布)

10月 … 福祉バザー
福祉教育 (九沢小)
高齢者と園児の交流会①
赤い羽根募金

11月 … 福祉教育 (大沢小)
高齢者等見守り訪問事業④
第11回大沢comcom.com
高齢者と園児の交流会②

12月 … 年末たすけあい募金

1月 … 年賀状で激励
高齢者等見守り訪問事業⑤

2月 … 福祉講座

3月 … 広報紙「ころろ」発行
パネル展示 (公民館まつり)
高齢者等見守り訪問事業⑥

福祉教育



大島小学校 (6月22日実施)
＜車イス体験＞



九沢小学校 (10月13日実施)
＜シニア体験＞



大沢小学校 (11月30日実施)
＜アイマスク体験＞

4年生を対象とした「車イス」「シニア体験」「視覚障がい者誘導」の福祉体験授業に協力しました。

構成員等
視察研修会

県立平塚ろう学校の見学

6月27日実施
35名参加



先生からの概要説明

今年度の視察研修先は「神奈川県立平塚ろう学校」でした。神奈川県唯一の県立のろう学校ということもあり、生徒は県全域のみならず、近県からも通学しているそうです。

補聴器を使用している生徒のために、椅子の脚にテニスボールを付けて雑音を少なくしたり、床下に磁気ループを敷き、電波で音が届く仕組みになっているホールなど、様々な工夫により学びやすい環境づくりがなされていました。

窓が広く、生徒の表情も明るく開放的でした。その理由は、遠くからでも口の動きを読み取ること（読話）ができるようにするためだそうです。

目に見えない障がいと言われる「聴覚障がい」は、障がいのあることがわかりにくいそうです。困っている人を見かけたら、障がいの有無に関わらず声掛けをすることが大切だと思います。

高齢者と園児の交流会 ～園児と一緒に昼ごはん！～

11月20日・21日実施



大沢幼稚園
(メインはポークチャップ)



むくどり風の丘保育園
(カレーライス)

昨年度から新たに始まったこの事業は、日頃子どもと接することが少ない高齢者が、園の主催する事業に参加することで、子ども達と交流し楽しいひと時を過ごしていただくことを目的としています。

今年度は、2ヶ所の園(大沢幼稚園・むくどり風の丘保育園)のご協力により、13名が参加されました。参加者の皆さんは、「久しぶりに小さな子どもとふれあったことが、とても嬉しかった」と口々に話されていました。

福祉コミュニティ形成事業からのお知らせ

11月25日実施

福祉コミュニティ形成事業は5年目を迎え、こむこむ茶屋の開催も各地区で定着しつつあります。

今年度は、認知症予防にも効果があり、脳トレにも良いと評判の「健康麻雀」を推進していくための活動を始めました。その手始めとして、皆で大沢オリジナルの麻雀台を作製しました。実施の目的には、地域のマンパワーの発掘があります。

当日は女性の方も参加され、和気あいあいの雰囲気の中、2台の麻雀台が完成しました。

オリジナル麻雀台の作成



さっそく試しに...



完成しました！

福祉講座

2月3日実施
参加者54名

介護を必要としない身体づくり



布野院長の講話

「『転ぶのではないかと』という恐怖心から動くことをやめてしまうと、ますます動けなくなる。怪我をしない究極の選択は動かないことだ。」というお言葉には、大変考えさせられました。

実際にイスから立ち上がる時、身体のどの部分の筋肉を刺激すると脳に伝わり、スムーズな動作で立ち上がれるようになるのかなど、実践を通して、正しい姿勢で行動する必要性を教えてくださいました。参加された方から「もう一度、話を聞きたい」「聞いたことを実践して今後の生活に役立てたい」「身体の使い方が理解できた」というご意見を多数いただき、是非またこの講座に参加したいと希望されていました。

市内中央区にある光が丘接骨院の先生3名を講師にお迎えして、体の特徴を基にした「介護を必要としない身体づくり」についての講話をお聞きしました。クイズを交えながら「私達の日常の動作が『脳』と深い関わりがある」という内容は、初めて耳にするお話ばかりでした。

キーワードは、『介護を必要とされる身体になる一番の原因は、自分自身で作ってしまった』



左から新井先生・菊池先生・布野先生



手のひらを外側に…



立ち上がる時の動作は…

ご協力ありがとうございます

日本赤十字社 1,584,000円
市社協賛助金 1,638,800円
共同募金 2,290,794円

※ご協力いただいた募金は、市町村や福祉施設・団体等へ配分され、地域福祉活動や福祉施設の整備、福祉サービスの実施、ボランティア活動の促進・支援等に活用されます。

受賞おめでとうございます!

【社会福祉活動推進功労者表彰】
藤本 征助様
内山 正春様

ご寄付をいただきました

大島観光協会様 平成22年度～
五和交通有限会社様 平成27年度～



大島観光協会大員会長から地区社協吉村会長へ



猫の貯金箱に貯まった小銭を

上記の2団体よりご寄付をいただきました。誠にありがとうございます。地域福祉活動のために有効に使わせていただきます。

広報啓発事業部会員

池田由紀子 今泉 勝子
大橋紀代子 桑原ひさ子
*菅原 作治 高橋 昭子
玉川 善政 萩生田和芳
平井 永子 藤原 洋子
邊見 省三 松井 光臣

部会員の紹介 (敬称略)

地区社協事業はこの2つの部会が中心となって運営しています。
*印は部会長

ささえあい事業部会員

稲葉千恵子 井上 憲治
岩淵 秋子 笹野 笑子
笹野 博文 *佐野 則子
菅原 良美 高崎 紀子
田代 照代 中島 久八
野崎 俊彦 吉澤 肇